

## Ⅱ 活動記録

### 1 展覧会

※出品リストについては、他所蔵作品のみ詳細を掲載、当館所蔵作品は主な作品名のみ掲載しました。

※画像は展覧会ポスターで、ポスターのないものはリーフレットを用い、その場合のみ「リーフレット」とキャプションを添えました。

平成10年度

#### －所蔵作品による－開館記念 鏑木清方展

鏑木清方記念美術館の開館記念として、所蔵作品をテーマごとに三期に分け公開し、その業績を偲ぶ。[総入館者数 16,178人(一日平均:202人)]

#### 第Ⅰ期 「女性美を描く」

会期 平成10年4月18日(土)～平成10年5月17日(日)(開館日数:26日)

入館者数 8,274人(一日平均:318人)

出品作品

「浅みどり」「秋宵」「嫁ぐ人」「ためさるゝ日(右幅)」「水汲」「襟おしろい」  
「朝涼」「虫の音」「女役者衆八」「築地明石町(下絵)」「妓女像(下絵)」



#### 第Ⅱ期 「文芸への関心」

会期 平成10年5月22日(金)～平成10年6月21日(日)(開館日数:27日)

入館者数 4,564人(一日平均:169人)

出品作品

「一葉女史の墓」「深沙大王」「金色夜叉の絵看板」「曲亭馬琴」「注文帖」「にぎりえ」

#### 第Ⅲ期 「市井の暮らしをみつめる」

会期 平成10年6月26日(金)～平成10年7月26日(日)(開館日数:27日)

入館者数 3,340人(一日平均:123人)

出品作品

「寒月」「暮れゆく沼」「ほゝづき」「孤児院」「教誨」

図録 『－所蔵作品による－開館記念 鏑木清方展』

#### 関連記事

- 平成10年3月 7日 鏑木清方記念美術館が完成 鎌倉市雪ノ下(東京新聞)
- 平成10年3月 8日 日本画家・鏑木清方 業績たたえ美術館(読売新聞)
- 平成10年3月11日 日本画家鏑木清方 後世に業績残そう(神奈川新聞)
- 平成10年3月13日 故鏑木清方画伯の偉業伝える美術館鎌倉市に完成(産経新聞)
- 平成10年3月14日 故鏑木清方画伯をしのぶ記念館(朝日新聞)
- 平成10年4月 1日 鏑木清方記念美術館 18日旧居跡にオープン(広報かまくら)
- 平成10年4月16日 開館記念 鏑木清方展(ぽど)
- 平成10年4月18日 鏑木清方記念美術館 きょうから一般公開(毎日新聞)
- 平成10年4月18日 日本画の巨匠在りし日しのぶ(神奈川新聞)
- 平成10年4月18日 きょうから一般公開 鎌倉鏑木清方記念美術館(東京新聞)
- 平成10年5月1日・15日／7月1日・15日 鏑木清方記念美術館開館記念展(広報かまくら)
- 平成10年5月21日 鎌倉市鏑木清方記念美術館オープン(新美術新聞)
- 平成10年5月22日 鏑木清方展(神奈川新聞)
- 平成10年6月22日 鎌倉に鏑木清方記念美術館誕生(産経新聞夕刊)

## 季節のうつろいー夏から秋へー

鏗木清方は、四季折々の風物や、それに伴う庶民の年中行事にも強い関心を寄せており、その写生帳をみると、清方の季節に寄せる温かいまなざしを感じることができる。現代では失われがちな夏から秋にかけての季節の移ろいを、清方の筆でじっくり味わう。

**会期** 平成10年8月7日(金)～平成10年10月4日(日)(開館日数:49日)

**総入館者数** 3,713人(一日平均:75人)

### 出品作品

【前期】8月7日(金)～9月6日(日)

「夏の柳井戸(柳乃井戸)」「ゆかた」「ゆあみ」「夏の思い出」

「河添の家(下絵)」「湯上がり(下絵)」「夏ざしき(下絵)」

「小説家と挿絵画家(下絵)」

【後期】9月10日(木)～10月4日(日)

「孤児院」「暮れゆく沼」「秋宵」「龍膽」「瀧野川観楓(下絵)」

### 関連記事

平成10年8月1日・15日 鏗木清方記念美術館常設展(広報かまくら)



リーフレット

## 特別展 清方がゑがく肖像画

鏗木清方は挿絵画家として出発したが、その後、肉筆画の制作にも打ち込むようになり、人物画(美人画・肖像画)に優れた作品を残している。この展覧会では特に肖像画に焦点をあてた。

**会期** 平成10年10月10日(土・祝)～平成10年11月23日(日・祝)

(開館日数:38日)

**総入館者数** 4,504人(一日平均118人)

**図録** 『特別展 清方がゑがく肖像画』

### 出品作品

「慶喜恭順」「雨華庵風流」「女役者衆八」「先師の面影」「大蘇芳年」

「三遊亭圓朝像(下絵)」「藤懸静也博士寿像(下絵)」「橋田邦彦博士像(下絵)」

「三浦謹之助博士像(下絵)」「女役者衆八(下絵)」

### 関連記事

平成10年10月1日 特別展「清方がゑがく肖像画」(広報かまくら)



## 下絵・スケッチにみる女性

鏑木清方は女性の美しさのみを描くことを目的としておらず、女性の姿を通して庶民生活の風情を表現しようとしている。この展覧会では素描や下絵に描かれた女性の姿を展示した。

**会期** 平成10年11月28日(土)～平成10年12月25日(金)(開館日数:24日)

**総入館者数** 1,305人(一日平均:54人)

### 出品作品

「崔承喜 一」「崔承喜 二」「舞妓」「舞妓(下絵)」「妓女像(双幅 下絵)」「築地明石町(下絵)」「大川端(新富町)(下絵)」「伽羅(下絵)」

### 関連記事

平成10年12月15日 鏑木清方記念美術館の常設展(広報かまくら)



リーフレット

## 新春 羽子板展

清方は、自分が生まれ育った明治東京の風俗に関心を寄せていた。代表作のひとつ「明治風俗十二ヶ月」を意匠化した羽子板を中心に展示した。

**会期** 平成11年1月5日(火)～平成11年2月14日(金)(開館日数:36日)

**総入館者数** 4,437人(一日平均:123人)

### 出品作品

「明治風俗十二ヶ月(押絵羽子板 永井周山作)」「ためさるゝ日(押絵羽子板)」「春の夜のうらみ(押絵羽子板)」

### 関連記事

平成11年1月1日/2月1日 鏑木清方記念美術館 (広報かまくら)



リーフレット

## 清方のまなざしー下絵・スケッチよりー

清方が描きとどめた四季折々の草花や風景などのスケッチの中でも、ほとんど出品されたことのなかったものを中心に展示した。

**会期** 平成11年2月26日(金)～平成11年4月11日(日)(開館日数:37日)

**総入館者数** 3,650人(一日平均:98人)

### 関連事業

【講演会】鏑木清方一人と芸術ー  
【講師】倉田公裕(美術評論家・専門委員)  
【日時】平成11年2月25日

### 出品作品

「先代萩 一」「先代萩 二」「僧房春蘭(牡丹の寺)」「蝶」「干物」「牡丹 一」「牡丹 二」「春の立場茶屋(金沢春景)」「雪旦(下絵)」「菊花節(下絵)」「蕪(下絵)」「稚児桜(下絵)」

### 関連記事

平成11年4月1日 鏑木清方記念美術館「下絵とスケッチ」(Bay Ma vol.55)  
平成11年5月1日 鎌倉市鏑木清方記念美術館(アートトップ 170号)



リーフレット